

座談会

東日本大震災から10年（下）

原発ゼロ ほんとうの 復興めざして

高橋ちづ子 衆議院議員

日本共産党東日本大震災現地対策本部長
衆院東日本大震災復興特別委員会
衆院東日本大震災復興特別委員

紙 智子 参議院議員

参院東日本大震災復興特別委員

いわぶち友 参議院議員

参院東日本大震災復興特別委員



同じ町内で、路地を挟んで向こう側は帰還困難区域＝2020年9月、福島県富岡町夜ノ森（浜通り医療生協・工藤史雄さん提供）

国会議員団で結成

福島チーム

高橋 2014年、私が責任

者となって党の「福島チーム」を立ち上げました。メンバーは共産党の国会議員全員。行かな

いところはないというくらい、被災地に足を運び、懇談を重ねてきましたね。

いわぶち 私は国会議員になるまで「福島チーム」を迎える側でした。多くの国会議員が直接受福島に足を運んでくれたことによても励まされました。

同じ町で、避難指示を解除されたところと継続中のところ。道路ひとつで賠償などで差がつ

けられるなど分断されている苦しい状況やみんなの怒り。仮設住宅で、公営住宅で、被災者のみなさん

うかけ声もよくかかるんですよ。

汚染水を流すな

福島県議団や国会議員団で共有し、政府へ申し入れて交渉しました。

高橋 各委員会のメンバーが揃っているから、どんな相談をもちかけられても対応できるのが福島チームの強み。みなさん

に喜んでいただきましたね。

いわぶち 昨年10月末、政府が放射性物質であるトリチウムなどを含む汚染水を海洋に放出する方向で最終調整に入つたと伝えられました。漁業者をはじめとして、「今までの努力を水の泡にする」と不安と怒りが広がっています。

紙 2016年の参議院選挙でいわぶちさんが当選し、復興特別委員会の委員になりました。いわぶちさんが伝える福島事故でいつさい漁ができるなくなつて以来、何年もかけて少しづつ操業を広げてきた、と切々と



汚染水の海洋放出に反対するデモ（DAPPE・平和と平等を守る民主主義アクション主催）=2020年7月26日、福島駅前

話されて。漁協のみなさんは水銀汚染で苦しんだ熊本県水俣市にまで足を運び、水俣はどのように苦難を乗り越えたか学んだそうです。とにかく検査を重ねて消費者に信頼してもらうしかない、地道に努力を重ねてようやく本格的な操業ができるまでこぎつけたそのときに汚染水を海に放出するのか、と。

いわぶち 東京電力は関係者の理解なしにいかなる処分も行わないと福島県漁連と文書も交わしています。東電社長に「漁業者との約束を守つて海洋放出はおこなうべきではない」と迫りましたが、社長は「国に従う」と。地元の自治体、観光業、農業者も反対の声を上げて

います。「風評被害ではなく実害になる」と厳しく指摘する方もあります。この声をうけてこれからも国会で論戦します。

高橋

東京電力の試算では、

現在タンクにためられている水の73%にトリチウム以外のヨウ素やストロンチウムなどが含まれ、最大で基準値の2万倍とされています。今回タンクの中での生物反応があつて、有機結合型トリチウムなども確認されています。この汚染された水を魚が取り込んだらいいどうなるのか。子々孫々に資源を引き継ぐ使命がある地元のみなさんが懸念し、反対するのは当然です。同時に海はつながっているのですから、福島県だけの問題



汚染水の取り扱いをめぐる問題で経産大臣に要請=2020年7月27日

れたのか、自民党の山本拓元農林水産副大臣が「海洋放出はおかしい」と語つたと報じられました（河北新報1月15日付）。

ところがご本人のホームページをよくよく読むと東京オリパラ前には反対と。しかし、前提付

きとはいえ自民党内から異論が出た背景には高まる反対世論があり、国際的な批判を恐れているのは間違いないでしょう。

紙　拙速に結論を急ぐべきではない。当面は陸上保管を継続し、国内外の獻智を結集して解決をはかるべきです。

完全賠償の約束どこへ

ではないですよね。
紙　全国漁業協同組合連合会も「断固反対」と明言しています。みんなの問題にしていくことが大事ですね。

高橋　相次ぐ反対の声に押さ

げ、いまも収束の見通しがない東電原発事故は人災であり、国も東電もその責任を免れないことは明白です。ところが裁判外紛争解決手続き（ADR）の和解案の拒否、賠償打ち切りが相次いでいます。

※裁判外紛争解決手続き（ADR）裁判ではなく、専門知識を持つ仲介委員が和解案をつくり解決をめざすもの。

いわぶち　避難先から戻つて営業を再開した事業所の7割で営業利益が減少しています（2017年3月公表福島県商工会連合会調査）。東電は「被害が続く限り賠償する」としていましたが、商工業者への営業損害

賠償は、1年間に事故の影響で失われた利益の2倍相当を支払つて打ち切りという方針を示しました。ところが2倍どころか1倍とか、まったく支払われないという方もいました。損害が続く限り追加賠償するといいますが、2018年、500事業所が追加賠償の申請をしたのに対し、合意したのは1件のみ。

最新のデータでは1000の申

請に29件。まともに応じていな

いのが実態です。

紙 加害者の東電が賠償するかどうかを一方的に決めるなど許されないです。また、ADRの和解案を東電が拒否する事態も相次いでいますね。

高橋 象徴的だつたのは、原

発事故で全町避難となつた福島県浪江町の町民1万6000人が集団で行つた最大規模のADR。東電は4年間にわたり和解を拒み続け、ついに仲介が打ち切られたのです。

いわぶち 東京電力は原発事故後「最後の1人まで賠償」「迅速かつきめ細やかな賠償の徹底」「和解仲介案の尊重」という3つの誓いを掲げています。それはどこにいつてしまつたんだ、と言いたい。深刻な事故を起こした責任を投げ捨てるものです。

不當判決 群馬訴訟

紙 1月21日、福島県から群馬県に避難した住民による「群馬訴訟」の東京高裁判決は、国の責任を否定するという不當判決でした。

交付公債や利払い等、国民の税

いわぶち 昨年9月、「生業(なりわい)

金で支援し、存続させる仕組みです。すでに10兆円以上投入されています。東電救済のスキーム(枠組み)だと、一貫して反対してきましたが、その後法改正で、全国どの原発が事故を起こしても東電同様に救済すると一般化されてしまったのは原発再稼働への布石であり、大問題です。



たかはしちづこ 比例東
北ブロック選出

を返せ、地域を返せ！」福島原発訴訟で仙台高裁は国の責任を認めました。原告が4000人近く、集団訴訟のなかでも最大規模の訴訟です。群馬訴訟と判断を分けたのは、国の地震調査研究推進本部による2002年7月に公表した地震予測「長期評価」の信頼性に対する評価です。

紙 群馬訴訟は事故の原因となつた、福島第一原発の敷地を超える津波を予見できたとはい

えない。

いわぶち 群馬訴訟の東京高裁判決は、土木学会がまとめた「津波評価技術」を判断の根拠に据えました。土木学会の委員の半数以上は電力会社の関係者なんですね。控訴審で国は、「いわゆる自主避難の継続を認める」とは「国土への不当な評価となる」から容認できないとした。あまりにもひどい。さら

に判決で国の責任が認められなかつたことで「生きているのがいやになるほど落胆した」と語った原告の苦しみははかりません。

高橋 何重にも許しがたい判決です。被害者の生活と地域は分断され、生業は奪われたま

ま。一方的な線引きによる避難強要と賠償の格差によってうまれた深刻な亀裂を私たちは目の当たりにしてきました。この判断で終わらせるわけにはいきませんね。

いわぶち はい。群馬訴訟は上告しました。全国に約30件ある集団訴訟の原告は避難指示区域内の人も外の人もいます。福島県民もいるし、県外の人もいる。置かれている状況は違つても、それを乗り越えて加害者はだれなのか、国と東電じやないかと連帯して取り組んできました。

紙 国と東電の巻き返しが強まっていますが私たちは負けない。被災者のみなさんが報われ

る結論を得るまでがんばりまし
よう。

被災地のいま

いわぶち 東日本大震災から

10年で国の決めた「復興・創生
期間」が終了しました。この後
地震・津波被災地は5年間、福
島は10年で被災者支援や復興策
に「区切り」をつけようとして
います。

紙 復興公営住宅の整備戸数



かみともこ 主な活動地
域・北海道/東北ブロック

は99%、確かに一見すると復興
は進んでいるように見えます。

でも高齢化や孤独死、心のケア
やコミュニティ形成、在宅被災
者の問題など新たな課題が生じ

ています。

高橋 今後大きな問題になつ
てくると思われるのが公営住宅
の家賃です。東日本大震災特別
低減事業は、復興交付金を使って
復興公営住宅の家賃減免費用
の一部を支援しています。この
復興交付金を本年度末で廃止、
それとともになつて家賃低廉化も
見直すというので「それは大問
題じゃないか」と国会で追及し
ました。供用開始時期の違いで
同じ支援が受けられなければ不
公平になるからです。結果とし

て当初の予定どおり、管理開始
後10年補助することになりまし
た。とはいっても最終的には補助を
減らしていくわけです。

昨年11月、津波被災地の山田
町（岩手県）で、医療費減免と
公営住宅補助があやしくなくな
るところだった、という演説を
したんです。そうしたら「はじ
めて聞いた。住宅に住めなくな
つたらどうしたらいいんだ」つ
て、みなさんが。ある女性は

「一人暮らしで先の見通しがな
い。心配で心配で髪が抜けてし
まつた」と。「かつらなのよ」
と教えてくれました。被災者の
みなさんには今なおこれほど心細
い思いをされているのだと考え
させられました。



いわぶちとも 主な活動地
域・北海道/東北ブロック

いわぶち 生業の再建に大きな役割を果たした中小企業への支援策、グループ補助金ですが、せつかく再建しても倒産する事例が相次いでいます。経産省のグループ補助金交付先アンケートによると、被災地で売り上げが震災直前の水準まで回復している事業者は44%。消費税率などのが追い討ちをかけ、グループ補助金を受け取った被災3県、のべ9941事業者のう

ち、92事業者が倒産したと報じられました。(共同通信1月11日付)。

紙 被災地の基幹的な産業である水産加工業や観光業にグループ補助金はよく活用されています。ところが主要魚種のサケ、サンマ、スルメイカの大不漁に加え、コロナ禍による飲食業の需要減も直撃しています。

いわぶち 補助金の返済時期に大不漁、コロナが重なり、文字通りの三重苦です。

高橋 災害が続いて多重ローリーに陥っている人が多い。あまり知られていないのが残念なのですが、個人や個人事業主の債務を支援するスキームをつくった「個人債務者の私的整理」に関

するガイドライン」があります。コロナ版もあるんですよ。

政権交代へ

いわぶち『女性のひろば』で思い出深いのは、全町避難を余儀なくされた浪江町の故・馬場有町長との対談です(2016年3月号掲載=65%の写真)。「ふるさとを思わない人はいない」と言つて町長は涙を流して。避難指示解除区域の居住率は3割、原発事故が人々をどれほど苦しめ続けているか、読み返して涙が出ました。

高橋 被災地訪問では、保守の立場の方々とも心を通わせてきましたよね。

いわぶち はい。首長はじめ、みなさん自分の市町村を守るために本当に悩まれていて。



故・馬場町長といわぶちさん

高橋 オリンピックの聖火ランナーが走る予定の一角だけはきれいに整備していますが、10年前から時間がとまつたままのところもあります。被災者のみなさんは何度もつらい選択を迫られました。困難に直面した人に私たちができるることは何か。どんな選択をしても認め

る、その準備をするのが政治の役割ではないかと思い続けています。ところが今回のコロナ禍ではしなくも露^{あらわ}になつたのは、

選択肢を示すどころか、「専門家が」と逃げ道を作りながら責任をとろうとしない政治のあり方ではないでしょうか。

いわぶち 菅首相は所信表明

演説で2050年までに温室効果ガスの排出を実質ゼロ、脱炭素社会を実現すると表明しました。その手段の一つとして示されたのが原発でした。「脱炭素」を「実に原発に固執するのかとあきれはてました。どうあっても政権交代を実現し、原発ゼロを実現しなければ。

紙 ええ。それが目の前で原

發事故を経験した私たちに託されたみなさんの願いです。

高橋 本当の復興は被災者一

人ひとりの暮らしと生業が復興してこそ。災害はいつも発災当初は「与野党の別なく」力をあわせます。しかし、時間がたてばたつほど政府、与党との対決点は鮮明になりますよね。

いわぶち 「惨事便乗型」とよぶべき大型開発や、原発をめぐる汚染水や除染、健康調査、賠償、避難指示解除など、一つひとつが「小さくみせる」「なかつたことにする」政府、与党とのたたかいです。今年こそ政権交代を実現し、被災者が主役の復興を実現しましょう！

女性のひろば

女性のしあわせと平等のために

2021

4

NO.506



野党政権の希望 命と暮らしとジェンダー平等のために
森女性差別発言 私たちは黙らない
こんな時に負担増?! 高齢者の医療費 谷本 諭
福田和子／岡野八代／清田隆之

藤野やすみ

発行 日本共産党中央委員会

